

徳島市民病院

地域医療連携だより

平成23年

4
月号〒770-0812 徳島市北常三島町2丁目34番地 徳島市民病院 地域医療連携室
Tel(088)622-5121(代表)・Fax(0120)20-5583

徳島市民病院の理念

「思いやり・信頼・安心」

東日本大震災と 市民病院外科にも激震あり

徳島市民病院院長 惣中 康秀



桜の花も散り、葉桜になりました。日頃は病診連携にお世話になり、お礼申し上げます。また、新病院になって3年余りが経過いたしました。皆様のおかげをもちまして紹介患者数も次第に増えてきており心より感謝いたしております。

さて、3月11日に三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の大地震が発生いたしました。特に、津波による被害は、原発への被害も含め想像を絶する甚大なものとなっております。地震被災者の方へ心よりお見舞い申し上げます。本院も徳島県、徳島市、医師会などの要請により、医師、看護師・薬剤師・事務職員からなるチームを編成するとともに、災害支援ナースを被災地に派遣するなど、医療支援に積極的に協力しているところでありますが、特に今回の震災では人的な被害が大きく、長期にわたる支援が必要となることも見込まれておりますので、継続的に支援を行っていく体制を組んでまいりたいと考えているところでです。

また、徳島県においても近い将来、南海、東南海地震の発生が懸念されておりますので、決して人ごとではありません。本院は耐震性を備えた新病院となっておりますので、建物への被害は最小限度に止めることができるものと考えておりますが、今回のような巨大津波の被害を目の当たりにしますと、地下や1階部分等、低層階にある施設・設備に被害が及んだ場合は、病院機能は大きく低下する可能性もあります。定期的に大規模地震を想定した防災訓練を実施しているところですが、今回の震災の教訓を踏まえて、より大きな被害も想定した対応を検討しておく必要性を感じております。

本院は、建て替え時期等の関係で災害拠点病院の指定はされておませんが、地域の中核病院として災害医療面での役割を果たせるよう努めて参りたいと考えておりますので、連携医の皆様にもご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、突然ですが、外科総括部長の和田大助医師が4月に高松市民病院の院長として赴任いたしました。本院としては、優秀な人材を失うこととなり大変痛手となりますが、引き続き連携医の皆様のご期待に応えられるよう、スタッフの充実に努めて参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

徳島市民病院血液内科

について

内科主任医長 橋本 年弘



平素より地域連携医療機関の先生方にはお世話になっております。本院血液内科について紹介させていただきます。

本院は日本血液学会認定研修施設であり、渡辺、橋本の2名を中心に診療を行っています。悪性リンパ腫、急性白血病、骨髄異形成症候群、慢性白血病、多発性骨髄腫、骨髄増殖性腫瘍などの造血器腫瘍や再生不良性貧血、溶血性貧血、特発性血小板減少性紫斑病などの難治性血球減少症を主たる診療対象としています。これらに対して、血液・骨髄検査、リンパ節生検などの病理組織検査やX線、CT、MRIなどの画像検査による診断を行っています。PET/CT検査が必要な際には、徳島大学病院へ依頼しています。

毎週火曜日、水曜日に血液外来を行っています。緊急時には随時対応しております。入院無菌病床は1床ですが、必要に応じて簡易無菌室を利用し治療を行っています。血液内科では入院加療を要する患者様が多くなりますが、外来治療が可能な場合は、外来化学療法室を利用した治療を行って

おります。

病状に応じた適切な治療法を患者さまにご説明しご理解いただいたうえで、化学療法、抗体療法、分子標的療法、放射線療法などの治療を選択し、適切な治療を提供できるように努めています。またエビデンスに基づいた標準治療を行い、造血細胞移植の適応例では寛解導入後、徳島大学病院などの移植病院へ紹介しています。

血液疾患診療は血液内科医のみならず、プライマリケア医、各専門分野の医師、病理医、放射線医、コメディカルスタッフなどの多くの医療者の協力を必要とします。医療従事者が密接に連携し、質の高い診療を提供できるように努力したいと考えています。また紹介医師や地域医療機関との連携のもとに診療を進めて参りますので、何卒よろしくお願いいたします。

■治療実績 [平成22年度入院症例数]

悪性リンパ腫	50例
急性白血病	9例
慢性白血病	5例
骨髄異形成症候群	4例
多発性骨髄腫	10例
再生不良性貧血	1例
特発性血小板減少性紫斑病	3例

着任医師紹介

着任のご挨拶

脳神経外科 診療部長 上田 博弓

陽春の候、皆様にはますますご清祥のことと存じます。日頃は市民病院との連携医療機関として大変お世話になっております。

平成23年4月に、7名の医師、5名の臨床研修医が着任致しました。

新病院では職員一同、信頼され、質の高い医療を提供できる施設を目指しております。

このような活気あふれる病院の一員として、気持ちも新たに地域医療向上に努める所存ですので、今後とも御指導・御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

内科主任医長



大喜田 義雄
阿南医師会中央病院

外科主任医長



金村 普史
愛媛県立中央病院

外科医長



坪井 光弘
高松赤十字病院

外科医長



徳永 卓哉
兵庫県立淡路病院

外科医師



青山 万理子
徳島市民病院

(平成23年4月外科配属)

脳神経外科診療部長



上田 博弓
徳島県立中央病院

整形外科医師



遠藤 哲
黒部市民病院

放射線科主任医長



森本 司
きたじま田岡病院

産婦人科医員



谷口 友香
徳島大学病院

(平成23年3月着任)

(平成23年3月着任)



臨床研修医

岩佐 昌美、小林 愛貴美
竹内 誠、阿河 誠治、筒井 康継

※医師の新体制につきましては、後日発行する『徳島市民病院のドクター紹介』でご案内いたします。

退任する医師

内科医師

清水 伸彦
健康保険鳴門病院

内科医師

田畑 良
徳島大学病院

内科医師

大久保 眞野
大久保病院

外科総括部長

和田 大助
高松市民病院

外科主任医長

井川 浩一
国立病院機構高知病院

外科医長

松岡 永
徳島県立中央病院

外科医師

仁木 尚子
高松赤十字病院

外科医師

森本 雅美
徳島大学病院

脳神経外科主任医長

宮本 理司
健康保険鳴門病院

整形外科医師

濱口 理沙
高松赤十字病院